

## 村岡地区のまちづくりの取組について

村岡地区のまちづくりは、神奈川県、鎌倉市及び本市（以下「3縣市」という。）で湘南地区整備連絡協議会を設置し、様々な取組を続けています。

平成30年12月藤沢市議会定例会 建設経済常任委員会において、新駅設置及びまちづくりに関して、3縣市での協議事項について報告しました。

今回は、今年5月に開催された湘南地区整備連絡協議会総会において、平成30年度事業として確認された事項及び今後の取組について報告するものです。

### 1 まちづくりと村岡新駅設置に関する合意と協議会の設立について

村岡地区・深沢地区のまちづくり及び村岡新駅設置等について、平成30年12月27日に3縣市で合意をしました。

この合意をもとに、村岡新駅設置の推進を図るため、同日に3縣市による「村岡新駅（仮称）設置協議会」を設立しました。

#### （1）合意内容（概要）

##### ア まちづくりについて

- （ア）藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区のまちづくりは、一体施行による土地区画整理事業とし、本市、鎌倉市がそれぞれ応分の費用負担をする。
- （イ）両地区を連絡するシンボル道路等については市道とし、自由通路、南口駅前広場及びシンボル道路は本市、シンボル橋は鎌倉市が整備する。

##### イ 村岡新駅設置について

- （ア）3縣市は、「村岡新駅（仮称）設置協議会」を立上げ、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」という。）に新駅設置を要望するとともに、整備費の負担を求める。
- （イ）神奈川県が新駅設置費用の3割を負担し、残りの費用を本市と鎌倉市で概ね5：5で負担する。
- （ウ）3縣市は、JR東日本に新駅概略設計の実施を求め、本設計に要する費用は、3縣市がそれぞれ1／3を負担する。

##### ウ その他

平成31年度（令和元年度）の新駅概略設計の着手を目指す。また、一体施行の土地区画整理事業とシンボル道路等については、平成33年度（令和3年度）の都市計画決定を目指す。

## 2 JR東日本への要望について

JR東日本に対し、3県市で設立した「村岡新駅（仮称）設置協議会」から「東海道本線の新駅設置に関する要望書」を平成31年1月18日に提出しました。要望事項として、「藤沢市村岡地区に、東海道本線の新駅を設置すること」「戦略的新駅として、新駅整備費用の一部を負担すること」「新駅の概略設計について、2019年度に着手すること」の3点を要望しました。JR東日本からは、「今後は協議会等の関係者と連携して対応していきたい」と回答がありました。

## 3 今後の取組について

「村岡新駅（仮称）設置協議会」では、令和元年度、2年度の2箇年で村岡新駅の概略設計を予定しています。

並行して、本市では、市民、学識経験者、地権者及び地元経済団体等をメンバーとしたまちづくり等に関する検討組織を今後立ち上げ、いただいたご意見やその他調整等を踏まえながら、まちづくりの具体化やコスト縮減に向けた検討、市全体に対する事業効果・貢献等についてまとめてまいります。

スケジュール（案）

|       | 2018 (H30) 年度  | 2019 (R1) 年度          | 2020 (R2) 年度     | 2021 (R3) 年度～ |
|-------|--|-----------------------|------------------|---------------|
| 新駅整備  | 12/27<br>神奈川県・藤沢市・鎌倉市の合意<br>12/27<br>村岡新駅（仮称）設置協議会立上げ<br>1/18<br>JRへ新駅設置要望 | 概略設計                  | 新駅設置の最終判断        | JRとの基本協定      |
| まちづくり |  | 具体化等の検討、市に対する事業効果等の整理 | 土地区画整理<br>事業の手続き | 都市計画決定        |

※ [ ] については、新駅設置の最終判断で、事業実施となった場合のスケジュールを示しています。

（都市整備部 都市整備課）